

学校法人
椋山女学園 理事長
椋山女学園大学 学長
森棟公夫



女子総合大学としての強みを生かし 多角的な視点を備えた 豊かな人間性を育んでいきたい

1 1949年に家政学部の単科大学としてスタートした本学は、2007年に教育学部、10年に看護学部を開設。7学部11学科を擁する日本有数の女子総合大学となりました。私が学長に就任して一年半、これまで特に力を入れているのが、カリキュラム改革です。具体的には、教養教育科目や専門教育科目を学部の枠を越えて履修できるように共通化を進めていきます。女子大で7学部を擁するという他にはない点を生かし、各学部のさまざまな専門家から学ぶことで、総合的な知を養い、多角的な視点を備えた豊かな人間性を育んでほしいと思います。そのため、本学には授業改善のための組織的な取り組み（FD）として、教

員が学部を問わずすべての授業を見学する機会を設けています。自分の専門と異なる授業は非常に新鮮なもので、自身の授業方法の改善が期待できます。そのほかにも、黒板中心の従来型の講義ではない能動的な学びを目指すアクティブ・ラーニングや地元企業など地域と連携した取り組みも盛んで、学生の自主的な社会活動などとあわせて積極的に支援したいと考えています。同時に学生の学修環境の改善にも努めています。図書館には対話型の机やタブレット端末を多数用意し、議論や相談ができるスペースを整備しています。学生の声に応え学食も変更しました。本学では「人間になろう」という教

【理事長・学長プロフィール】もりむね・きみお●1946年生まれ。京都大学経済学部卒業。同大学院およびスタンフォード大学大学院修了。京都大学教授、経済学部長、研究科長などを経て定年退職。2010年より椋山女学園大学現代マネジメント学部教授、椋山女学園副理事長。2012年より現職。スタンフォード大学PhD、経済学博士(京都大学)。2012年紫綬褒章を受章。

【大学プロフィール】1905年開校の名古屋裁縫女学校を母体に、1930年に設置された椋山女子専門学校(旧制)を前身として1949年開学。生活科学部(管理栄養学科、生活環境デザイン学科)、国際コミュニケーション学部(国際言語コミュニケーション学科、表現文化学科)、人間関係学部(人間関係学科、心理学科)、文化情報学部(文化情報学科、メディア情報学科)、現代マネジメント学部(現代マネジメント学科)、教育学部(子ども発達学科)、看護学部(看護学科)の7学部11学科。

育理念のもと、「ひとを大切にできる人間・ひとと支えあえる人間・自らがんばれる人間」の育成を目指し、少数教育やきめ細かな学生支援を行っています。教員と学生の距離が近く、ゼミで欠席が続く学生には連絡を取るなど、一人ひとりに手厚いサポートをするのが特色です。また、全学共通科目「人間論」などを通じてキャリアについて考える機会を1年次から設けるなど、理想的なワークライフ・バランスを実現できるよう「トータルライフデザイン教育」と名付けた教育、支援活動も積極的に実施しています。女子大学ではすべてにおいて女性がリーダーシップを発揮しますが、将来、必ずしもリーダーになるとは限りません。しかし、組織の中核的存在になり、あるいは組織を支え、社会に貢献する自立した女性として、同僚から信頼されるような社会人に成長してほしいと思います。私の高校時代と今とは進学率も若者の気質もまったく異なります。しかし、進路選択にあたり「自分は何をしたいのか、そのために何を学べばいいのか」と考える過程に変わりはないはずです。人の意見に流されることなく、自分の意志で進路を選択してほしいと願っています。